

行事で育つ、日々の教育活動で成長する

校長 三瓶 昌信

10月を迎えても夏が多く、日によっては日中の寒暖差も大きく、子供たちだけでなく、大人も体調を崩すことが多かったですが、少しずつ秋らしい日が続いてきました。学習、読書や運動に適した気候といえるでしょう。

さて、今年度の運動会は異例の1週間遅れの開催となりました。実施予定の5日の予報が雨天のため、翌6日の実施としましたが、予想以上に校庭がぬかるんでいたため、さらに延期としました。予報では予備日の8日以降も雨予報で、校庭の乾き具合も考慮して急遽12日の実施としました。予定外の延期となり、多くの方々にご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。幸い12日は好天に恵まれ、子供たちの元気いっぱいの姿に感動しました。応援団を中心に始めから最後まで、子供たちは大きな声援を送り、力いっぱいの拍手が響きました。ご来賓をはじめ、保護者や地域の方々からも惜しみない拍手があり、大変ありがたかったです。わが子だけでなく、全校の子供たちへの声援や拍手が子供たちの励みとなり、力となります。本当にありがとうございました。アンケートでは、競技に向かう子供たちの姿だけでなく、応援団を中心とした座席での応援や、6年生の係活動の様子についてお褒めの言葉をいただきました。こういった目立たないところでの子供たちの努力を認めていただき、とてもうれしかったです。教職員の動き、連携についても多くの賛辞をいただきました。手前味噌となりますが、子供に寄り添い、子供のために尽力する教職員です。

今年の運動会は「表現」をやめての午前開催としました。その説明が十分伝わっておらず、誠に申し訳ありませんでした。昨年度の1日開催に対して多くの反対のご意見をいただいたから、今年度は午前開催にしたということではありません。(もちろん皆様からのご意見はしっかり受け止めます)

第一には、各学年の授業数の余剰時間削減による「授業時間の確保」です。本校は2学期に2つの大きな行事(運動会、学習発表会)があり、その間に5年は連合音楽会、6年は連合体育大会があります。そのほかの学年も校外学習等を予定しています。定められた年間の授業時数をいかに確保するかを検討し、練習に時間を要する表現をなくし、午前開催としました。また、体育科の学習での「表現」の在り方についても検討し、日常の授業での「表現」の学習を重視しました。さらに、熱中症対策、教職員の働き方改革等も加味した結果です。私の説明不足でした。申し訳ありませんでした。

運動会后、17日には6年の連合体育大会を小山中央小学校と一緒に、本校の校庭で行いました。正門に整列して小山中央小の6年を迎え、座席にいるときからすでに交流が始まっていました。幼稚園や保育園で一緒だった仲間、習い事で一緒の仲間、さらには初めて会ったけどすぐに打ち解けて会話をしている様子…競技も力いっぱい頑張りました。クラス対抗で行う「長なわ」もみんなで声をかけあい励ましあう姿がありました。終了後はエールを送り、互いに讃えあう姿があり、さすが両校の代表、最高学年という姿でした。

このように行事によって子供たちのすごさ、良さを再発見できます。目標に向かって努力する姿、真剣なまなざし…子供たちが大きく成長する機会です。もちろん、今後も大切にしていきます。

今、学校教育は大きな変革期を迎え、一人1台端末があり、教科書も新しくなりました。学校では「授業改革」に取り組んでいかなければなりません。授業そのものを見直す必要があります。ぜひ、遠慮なく参観にお越しください。家庭学習も一層重要になっています。保護者、地域と学校の連携をより深めて教育活動を進めていきましょう。ぜひ機会を設け、保護者や地域の方々とこれからの学校教育について話し合いたいと考えています。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

【ふれあい月間】いじめ・虐待防止強化月間(11月)

いじめや虐待の早期発見に努めてまいります。気になることは些細なことでも遠慮なくご相談ください。